

## 千葉大学新入生のみなさんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが4月から受講することになる普遍教育についてのガイダンスを、動画形式でお届けします。必ず全体を視聴し、普遍教育に関する履修案内『Guidance2024』をよく読んだ上で、履修計画を立て、受講してください。

普遍教育とは、多くの大学で教養教育あるいは一般教育と呼ばれているカリキュラムに対応する、千葉大学独自の呼称です。皆さんは、それぞれ所属する学部での専門教育と並行して、普遍教育科目を履修することになります。学ぶ科目が限定されている高校とは異なり、大学では多くの種類の授業が開講されています。教養教育とは、雑学的な知識を得るためのものではありません。そこにはいろいろな目的があるでしょうが、大きな目的の一つは、自分という存在、自分が生きている社会、自分が学ぼうとしている学問を、より広い視点から位置づける、ということかと思えます。広い視点というのは、空間的な意味での広さ、つまり世界を知ることであり、また時間的な意味での広がり、すなわち過去を知ることでもあります。そこでは、自らの専門分野の位置づけや、価値を別の角度から捉えることにもつながります。

一方で、多様な価値観に触れ、他者を知る学びも重要です。社会生活は他者との関わりなしには成り立ちません。その際、現代社会の一員として必要となる、教養の基礎であるグローバルな視点、地域との関わり、哲学や倫理、歴史や文化、環境や生活、生命や心理については、それらの基礎科目を必修として、受講することになります。ここを出発点として、自らの興味関心に従い、学びを深めることもできます。

大学での学びの一環として、答えのない課題について考えることも求められます。積極的に意見を出し合う、能動的な学びも多々あります。文化や価値観の違いなどについて視野を広げ、様々な方と協力し合っていけるようなマインドを構築したり、課題に対して、多角的に考え、その成り立ちを理解したりする上で、解決に向けた一歩を進めていけるようなこともあるでしょう。

科学技術が進歩するにつれて、便利な世の中になりつつも、その技術の活用においては、多様な社会の在り方を捉えながら、適切なルールを構築していこうとする視点が必要になります。偏ったものの見方では、本質を捉えきれず混乱も生じ得ます。

千葉大学としては、専門とは違うからと毛嫌いせず、様々な価値観に触れ、情報を共有し、人とのつながりや自然を大切にしていける社会の構築に貢献できる一員になっていただきたい、という思いがあります。そのための科目を、本学はたくさん用意しています。普遍教育は、生涯にわたり学び続ける基礎となる考えを養う場とも捉えられましょう。

皆さんにとって千葉大学での学びや生活が有意義なものとなることを、心より願っています。

以上

全学教育センター長  
三野 弘文